Tーブロック ラテル&ウォルズ<縮刷版>

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

＜注意事項＞

■本取付説明書は基本的なことのみ記載してあります。施工前には必ず「T-ブロック取付説明書集」をお読みください。
■モルタル施工は5℃以下では行なわないでください。
■特に凍結が予想される場合は注意してください。

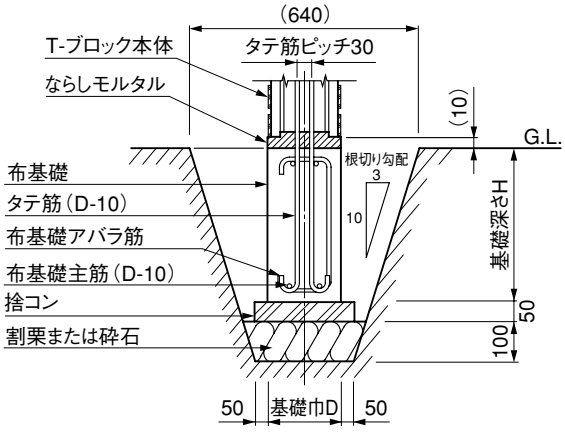
1. 基礎の施工

＜注　意＞

- 壁体の構成において基礎施工が強度に大きく影響します。特にタテ筋は必ず基礎に定着させてください。
- 基礎施工が不充分ですと、壁が転倒するおそれがあります。

1-1 基本ブロック、Rブロックの基礎（※寒冷地においては、凍結深度が優先されます。）

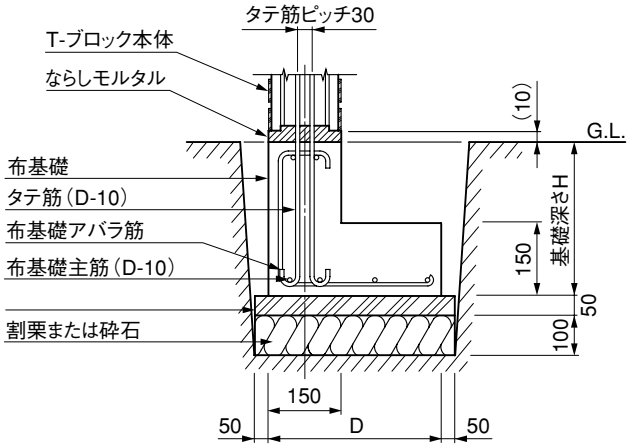
（1）塀1～5段積み基礎断面図



基礎寸法表

ブロック段数	基礎サイズ（巾D×深H）
塀1～4段	180×200 または 150×300
塀5段	180×400 または 150×500

（2）塀6段積み・プランター（土留め）基礎断面図

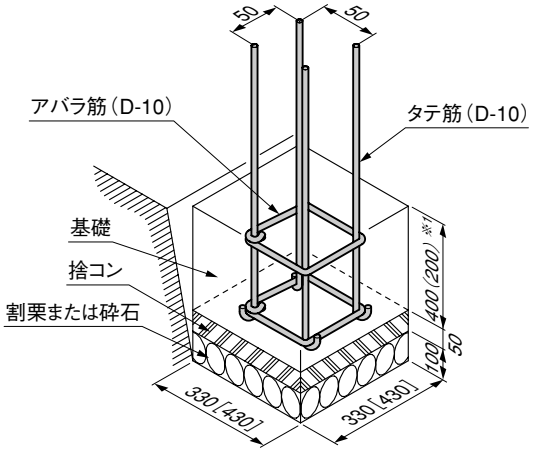


基礎寸法表

ブロック段数	基礎サイズ（巾D×深H）
塀6段	400×250
プランター1段	380×200
プランター2段	570×250

1-2 角ブロックの基礎

（※最大6段積みです。ヨコ筋施工は不要です。）



＜注　意＞

- 門柱と塀を連続して施工する場合は、必ず基礎内部で鉄筋を結合して一体化させてください。
- 4段積み以下の場合、基礎深さは200㎜以上にしてください。（※1）ただし、寒冷地においては、凍結深度が優先されます。
- 左図の寸法は、300角ブロックを施工する場合です。
- ［　］内寸法は、400角ブロックを施工する場合です。

歩掛表　（5段積み）

名称	規格	数量	
		300角	400角
割栗石	C-40	0.01m³	0.02m³
捨コンクリート	160kgf/cm²以上	0.005m³	0.01m³
基礎コンクリート	180kgf/cm²以上	0.05m³	0.08m³
ならしモルタル	1:3	0.004m³	0.006m³
アバラ筋	D-10	1.2m	2.0m

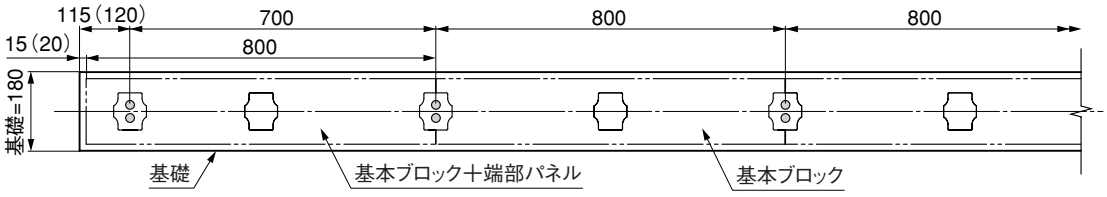
2. タテ筋の配筋

<注 意>

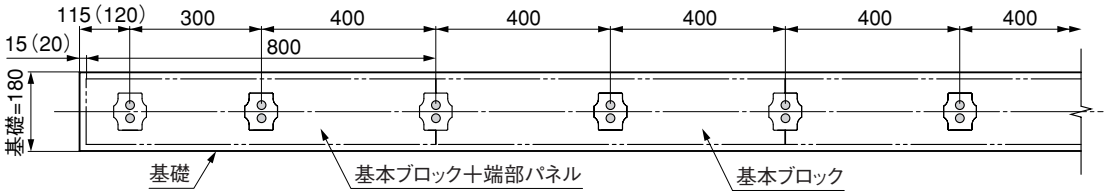
- 必ず鉄筋クリップを使ってD-10の鉄筋2本を30ピッチで施工してください。
- モルタルのかぶりを均一にするために、タテ筋はモルタル充てん穴のほぼ中央に施工してください。

2-1 直線部のタテ筋ピッチ（※（　）内寸法は「ウォルズ」の場合を示します。）

（1）塀1～5段・土留め1段



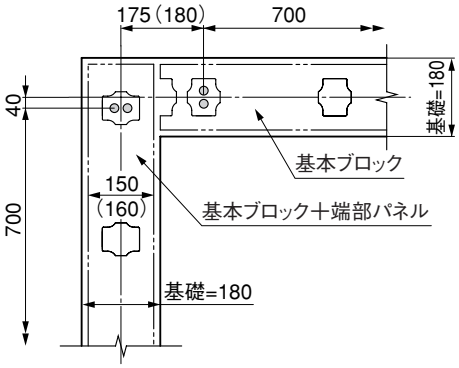
（2）塀6段・土留め2段



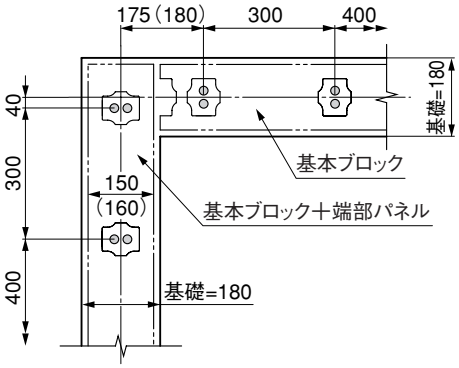
2-2 コーナー部のタテ筋ピッチ（※（　）内寸法は「ウォルズ」の場合を示します。）

基本ブロック（端部パネル付）と基本ブロックを使った場合

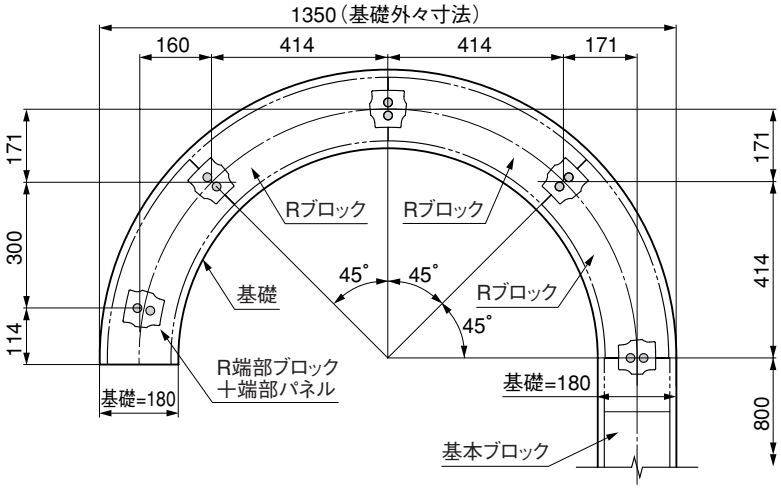
（1）塀1～5段・土留め1段



（2）塀6段・土留め2段



2-3 Rブロック（塀1～6段・土留め1,2段共通）のタテ筋ピッチ（※（　）内寸法は「ウォルズ」の場合を示します。）



3. ブロックの割付け

3-1 直線部分のブロックの割付け（※ブロックは最大6段積みです。）

❶ ブロックのジョイント部が千鳥になるように、基本ブロックと半切りブロックを組合わせてください。

＜注 意＞

- 6段積みを越えて施工しないでください。風や地震により、倒壊するおそれがあります。

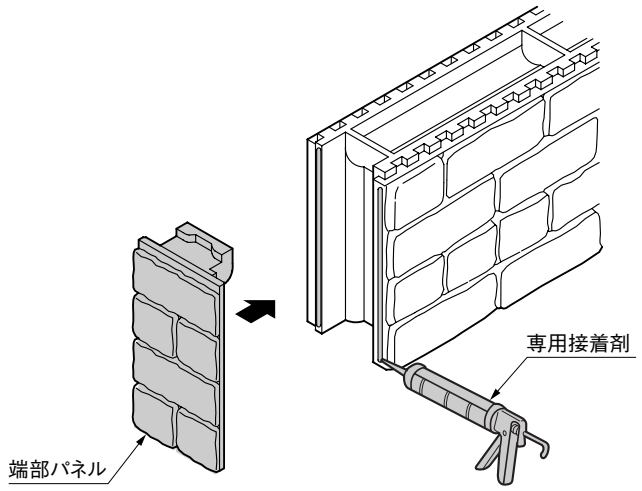
3-2 R部分のブロックの割付け（※ブロックは最大6段積みです。）

❶ ブロックのジョイント部が千鳥になるように、RブロックとR半切りブロックを組合わせてください。

＜注 意＞

- 6段積みを越えて施工しないでください。風や地震により、倒壊するおそれがあります。

4. 端部の処理



❶「端部になるブロック」の出っぱり部を、カッター等で取除いてください。

❷ 左図の位置へ「専用接着剤」を塗布してください。（2ヶ所）

＜注 意＞

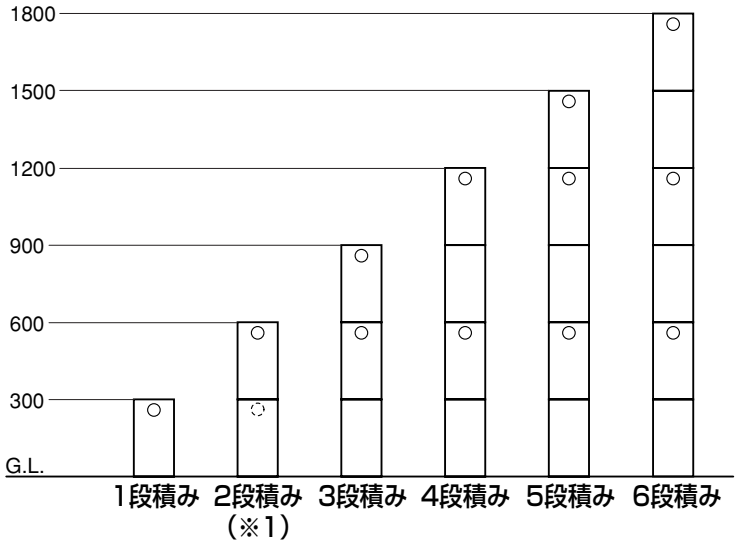
- 「専用接着剤」以外は絶対に使用しないでください。発泡材を侵すおそれがあります。

❸ 端部パネルを手で押えてセットしてください。（接着剤と充分なじむ程度）

＜注 意＞

- ハンマー等の工具を用いるとパネルが割れるおそれがあります。

5. ヨコ筋の配筋



※○印がヨコ筋入れ部です。

❶ ヨコ筋は2段目および4段目とすべての最上段に1本入れてください。

＜注 意＞

- プランター（土留め）施工の場合は、1段目と2段目にヨコ筋を入れてください。（※1）
- 階段状のような特殊な場合は、1段目と3段目というように2段に1本入れると考えてください。

6. 施工上、使用上の注意事項

＜T-ブロック商品に対する知識＞

■自然な風合いを出すため、表面の凸凹や色合いは材料により違いがあります。

■ブロックごとの目地色の濃度に個体差が生じます。

●お届け時または施工後、季節・施工条件などにより目地モルタル表面が一部白くなる場合がありますが、性能などに問題はありません。

●製法上、粒状, 粉状の材料が表面に残っている場合がありますが、耐久性能上問題はありません。

●笠木は専用の砂岩調笠木または石積調笠木を使用してください。端部用ブリックの笠木への転用は耐候性能上おやめください。

＜施工上のご注意＞

■運搬および保管

●搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。

●発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると、紫外線により表面が劣化するおそれがあります。

●発泡芯材部は80℃以上になると変形しますので、高温のものや火気がない場所に保管してください。

■施工

●充てんモルタルが硬化するまで添え木などで支え、ずれたり倒れたりしないように注意してください。

●気温が5℃以下になる場合は施工を避けてください。

●充てんモルタルの浮き水がブロック表面に流れ出た場合は、すみやかに水洗いしてください。白華の原因になります。

●接着やコーキングは当社指定の「専用接着剤」を使用してください。

●ブリックや目地に直接ネジ類でポスト等重量物を取付けないでください。落下するおそれがあります。

●表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシなどで水洗いをしてください。乾燥してからの酸洗いや、金属ブラシでの清掃はブリック表面を傷めますので行なわないでください。

●ブロックの切断加工等で発生した「切粉」は、ナイロンブラシ類ですぐに取除いてください。雨水で染み付いて、ブロック表面を白く汚染する原因になります。

●発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意してください。
(例：有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリンなど)

＜使用上のご注意＞

■年に2～3回の水洗いをしてください。

■清掃には金属製ブラシや金ベラは使用しないでください。表面を傷めるおそれがありますので、柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあと、洗剤が残らないようによく水洗いをしてください。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意してください。

■シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けてください。

■商品の発泡芯材は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが、80℃以上で融解する性質があります。火気や高温のものを近づけないでください。

取説コード
B046

199912A
200008B